



校舎が開放され体育館ではアルバムなどを展示

市立合川高校 齋藤和彌校長)の思い出の校舎見学」と思いつくを語る会」が8月15日、同校とサンシャインあいかわで行われ、卒業生や旧職員などが歴史と伝統を振り返りながら思い出を語り合いました。

思い出の合川高校

来春閉校の合川高校で校舎見学と語る会

市立合川高校 齋藤和彌校長)の思い出の校舎見学」と思いつくを語る会」が8月15日、同校とサンシャインあいかわで行われ、卒業生や旧職員などが歴史と伝統を振り返りながら思い出を語り合いました。

「思い出の校舎見学会」では、卒業生をはじめ地域住民に校舎を開放。校歌の流れる体育館では卒業アルバムや生徒会誌、輝かしい栄光の記録としての優勝旗やトロフィーなどが展示され、来校者は、懐かしそう振り返っていました。

一方、思い出を語る会」は合川高等学校閉校記念事業実行委員会 松橋勝美委員長)の主催で行われ、卒業生や旧職員など約130人が出席。松橋委員長は学校の沿革や、フェンシングをはじめとする部活動での活躍に感謝しながら、平成23年3月で49年間という歴史と伝統に幕をおろし、母校がなくなることは寂しい限りですが、今までの合川高校での思い出を忘れないでいただきたい」などとあいさつ。

- このあと、スライド上映や、スピーチなどで当時は振り返りながら、閉校する合川高校へのそれぞれの思いを語り合いました。
- 7月16日(金) 秋田県国有林野等所在市町村長有志協議会(秋田市)
- 20日(火) 鷹巣阿仁地区食生活改善推進協議会(中央公民館) 市青少年問題協議会(中央公民館) 綴子小学校三沢紘太さん(わんぱく相撲秋田ブロック大会優勝報告) 本庁舎)
- 21日(水) 森吉山スキー場管理運営協議会(四季美館) 北秋田市民病院運営委員会(市民病院)
- 22日(木) 合川地区自治会長会議(合川庁舎)
- 23日(金) 北秋田市周辺衛生施設組合(衛生センター)
- 26日(月) 中国普蘭店市政府訪問団表敬訪問(本庁舎)
- 29日(木) 国土交通省への要望活動(東京都) 首都圏誘致経済企業懇談会(東京都)
- 31日(土) 2010あきた水と緑の森林祭(北欧の杜公園)
- 8月1日(日) 平成22年第2回軽トラ市(銀座通り商店街)
- 2日(月) 種苗交換会(キヤッチフーズ表彰式) 本庁舎)
- 3日(火) 秋田県市町村総合事務組合定例会(秋田市)
- 4日(水) 北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合定例会(森吉庁舎)
- 5日(木) 小阿仁川水系対策委員会(森吉庁舎)
- 6日(金) 伊勢堂代遺跡調査検討委員会(中央公民館)
- 7日(土) 鷹巣農林高校と鷹巣高校 硬式野球定期戦ラストマッチ(中央公園野球場) 青海海外国際旅行社(長王貴炯氏講演会 本庁舎) 第24回森吉山麓たなばた火まつり(阿仁前田河川公園)
- 10日(火) 豪風関係援会総会(激励会) 本庁舎)
- 11日(水) 七日市・長崎邸寄付目録贈呈式(本庁舎) 平成22年夏巡業大相撲北秋田場所鷹巣(本庁舎)
- 12日(木) 市内小学校児童による秋田県学童相撲大会結果(東北大会出場報告) 本庁舎)
- 15日(日) 平成22年度北秋田市成人式(文化会館)



成人式で式辞を述べる市長(8/15)

地域住民が手作りで作る一大イベント

第24回森吉山麓たなばた火まつり

旧盆の七夕行事、第24回森吉山麓たなばた火まつり(池田文明実行委員長)が8月7日、阿仁前田河川公園で開催され、市内外から訪れた見物客約1万5000人が、郷土芸能や絵灯籠行列、火文字や花火など盛りだくさんのイベントを楽しみました。

開催は、前田地区のボランティア組織、森吉山麓村おこし会、池田文明会長)が中心となり、子ども会、婦人会、青年団、老人クラブなどに運営の一翼を任せて運営しています。地域住民一人ひとりが、役割分担、協力しながら、手作りイベントを定着させることにより、希薄になりつつある



祖先の供養と各地区で豊作や家内安全など地域の願いを込めて作られた絵灯籠が行列

世代間の交流の促進を図るとともに、愛郷意識、地域連帯感の醸成を促進することを目的に行っています。第1部「たなばたまつり」は、アマチュアバンドの演奏、前田小のロック・ソール、前田保育園のお遊戯、五味堀餅つき踊り、たなばた踊り、阿仁前田獅子踊りなど地域住民が踊りや伝統芸能を披露。夕刻には11基の絵灯籠が行列となり、会場内をお囃子に合わせて練り歩きました。第2部の「たなばた火まつり」のセレモニーで池田実行委員長は、地域の方々が一帯となって、手作りのお祭りを準備してきた。このあとも青年団が繰り広げる火文字を堪能し、火まつりを心ゆくまで楽しんでほしい」などと来場者を歓迎しました。盆木に火が灯され、幻想火まつりがスタート。対岸の河川敷には、森吉山の形をかたどった炎のラインや、ようこそ北秋田へ」「森吉山火まつり」「絆」などの火文字が浮かび上がり、川面が赤く照らし出されました。この後、火祭太鼓の迫力ある演奏で会場を盛り上げるなか、割物やスターマインなどの花火が次々に打ち上げられ、観客を楽しませました。

伝統の定期戦が見納め

鷹巣農林高校と鷹巣高校の野球定期戦ラストマッチ

鷹巣農林高校対鷹巣高校の硬式野球定期戦ラストマッチが8月7日、中央公園野球場で行われ、最後の戦いに選手らが熱戦を繰り広げました。県立鷹巣農林高校と県立鷹巣高校の硬式野球定期戦は、旧鷹巣町で毎年春の野球シーズン到来を告げる開幕戦として両校新入生の応援練習を兼ねながら開催され、旧鷹巣町商工会の後援を受けながら中央公園の校まつりに合わせて行われるなど伝統ある大会で5年ぶりに行われました。



両校主将が選手宣誓。熱戦が繰り広げられた鷹巣高校対鷹巣農林高校の定期戦ラストマッチ

定期戦ラストマッチは、北秋田市野球協会 鷹巣支部 成田光弘会長)と鷹巣阿仁青年会議所 松橋史尚理事

長)が主催。平成23年4月から市内4高校が統合し、秋田北鷹高校が開校するため、見納めとなる伝統のユニホームを着ての定期戦ラストマッチを行い、互いに健闘を称え合い今後の野球の取組に生かしてもらおうと企画したものです。開会式で、松橋理事長は、秋田北鷹高校になっても、先輩たちの思いを引き継いで、悲願の甲子園出場を目指してほしい。成田会長は、全力で戦い、ライバルを見つけ、自分を鍛え直す機会にしてほしい」などとあいさつしました。選手宣誓では、木村龍志主将(鷹巣農林高)、近藤開主将(鷹巣高)が、毎日の厳しい練習の成果を発揮し、フェアプレーの精神で来春の統合に向けて、地域に感動と輝きを与え続けられるようプレーすることを誓います。試合は、津谷市長がピッチャー、佐藤英樹鷹巣農林高校長がバッター、成田会長がキャッチャーの始球式で始まり、スタンドでは、両校のOBや父兄らが熱戦に大きな声援を送っていました。試合は3対1で鷹巣高校が勝利しました。

市長ダイアリー

7月16日～8月15日